

## 平成28年度病害虫発生予報第11号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

## 【予報の概要】

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
きゅうり	べと病	少	少
	うどんこ病	やや少	やや少
	褐斑病	少	少
	菌核病	並	並
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	並	並
	コナジラミ類 (防除情報第16号)	やや多	やや多
トマト	黄化葉巻病	やや少	やや少
	灰色かび病	並	並
	コナジラミ類 (防除情報第16号)	多	多
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病 (注意報第5号継続)	やや多	やや多
	アブラムシ類	やや少	やや少
	ハダニ類 (注意報第6号継続)	やや多	やや多
たまねぎ	べと病	やや多	やや多
	白色疫病	並	並
	ネギアザミウマ	やや少	やや少
ブロッコリー	黒腐病	並	並
	べと病	並	並

【発生予報】 本文の ( ) 内は平年値

## きゅうり

## 1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は0.4%(4.0%)、発生圃場率は8.3%(31.4%)であった。

## 2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は0.6%(6.0%)、発生圃場率は41.7%(60.4%)であった。

### 3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は0.08%(1.7%)、発生圃場率は8.3%(25.5%)であった。

### 4. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率0.0%)。

### 5. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率1.0%)。

### 6. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は1.3%(1.3%)、発生圃場率は16.7%(12.7%)であった。

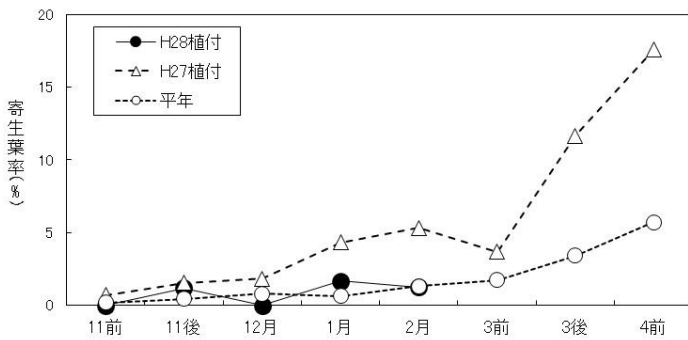


図 きゅうりのアザミウマ類 寄生葉率の推移

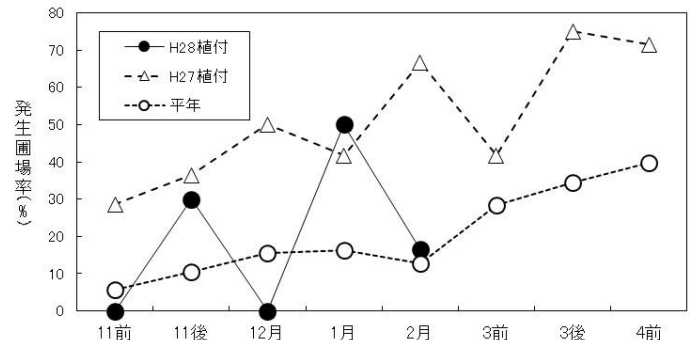


図 きゅうりのアザミウマ類 発生圃場率の推移

### 7. コナジラミ類

平成29年2月15日付け病害虫発生予察防除情報第16号による。

トマト

#### 1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.01%(0.3%)、発生圃場率は8.3%(24.8%)であった。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、果実では発生を認めず(0.0%)、葉での発病率率は0.1%(過去2ヶ年平均0.9%)、発生圃場率は8.3%(同33.3%)であった。

3. コナジラミ類

平成29年2月15日付け病害虫発生予察防除情報第16号による。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、葉および果実での発生を認めなかった(発病株率0.1%、発病果率0.0%、発生圃場率2.3%)。

2. 灰色かび病

平成28年12月26日付け病害虫発生予察注意報第5号を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

(1) 発生状況

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病果率0.3%(0.1%)、発生圃場率は14.8%(18.5%)であった。

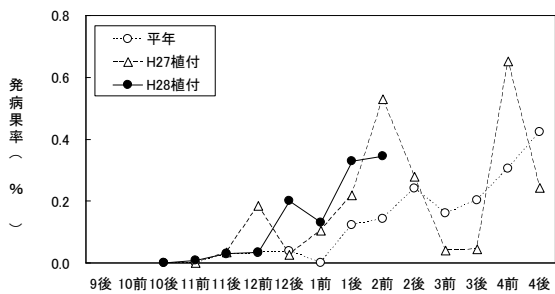


図 いちご 灰色かび病(果実) 発病率率の推移  
 平均:H18~H27の平均値(最大・小値除く)  
 ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H27の平均値

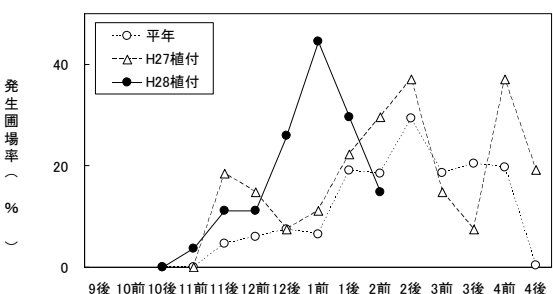


図 いちご 灰色かび病(果実) 発生圃場率の推移  
 平均:H18~H27の平均値(最大・小値除く)  
 ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H27の平均値

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.1%(0.6%)、発生圃場率は3.7%(10.2%)であった。

#### 4. ハダニ類

平成29年2月1日付け**病害虫発生予察注意報第6号**を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

##### (1) 発生状況

2月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は7.6%(4.4%)、発生圃場率は48.1%(38.0%)であった。

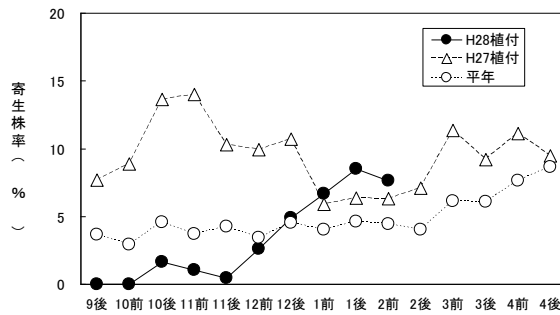


図1 いちご ハダニ類 寄生株率の推移  
平年:H18~H27の平均値(最大・小値除く)  
ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H27の平均値

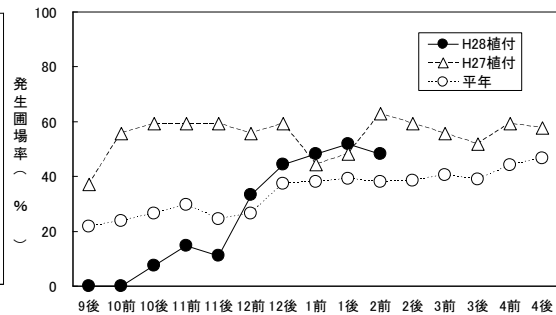


図2 いちご ハダニ類 発生圃場率の推移  
平年:H18~H27の平均値(最大・小値除く)  
ただし、12/下、1/下、2/下はH19~H27の平均値

### たまねぎ

#### 1. ベと病

##### (1) 予報内容

発生程度 やや多

##### (2) 予報の根拠

ア 2月上旬の巡回調査(14筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率2.5%)。

イ 県央地域において1~2月に実施した臨機調査の結果、越年罹病株が1月25日に初確認され(昨年、1月20日)、2月中旬までの発生圃場率は110筆(1月16日から2月10日までの累計)中9筆で8.2%であった(昨年のほぼ同期間、9.2%)。

##### (3) 防除上注意すべき事項

ア 越年罹病株は二次感染の伝染源として最も重要である。圃場の見回りをこまめに行い、発見したら早急に抜き取り圃場外に持ち出して適切に処分し、直ちに薬剤散布を行う。

イ 病勢が進行すると防除困難となるので、早期発見・早期防除に努める。

ウ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

#### 2. 白色疫病

##### (1) 予報内容

発生程度 並

##### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(14筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率5.0%)。

#### 3. ネギアザミウマ

##### (1) 予報内容

発生程度 やや少

##### (2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は6.0%(16.0%)、発生圃場率は35.7%(68.8%)であった。

## ブロッコリー

### 1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査（11筆）の結果、発病株率は1.8%（過去9年平均0.5%）、発生圃場率は9.1%（同7.8%）であった。

### 2. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

2月上旬の巡回調査（11筆）の結果、発生を認めなかった（過去9年平均発病株率0.4%、発生圃場率6.2%）。

【参考】

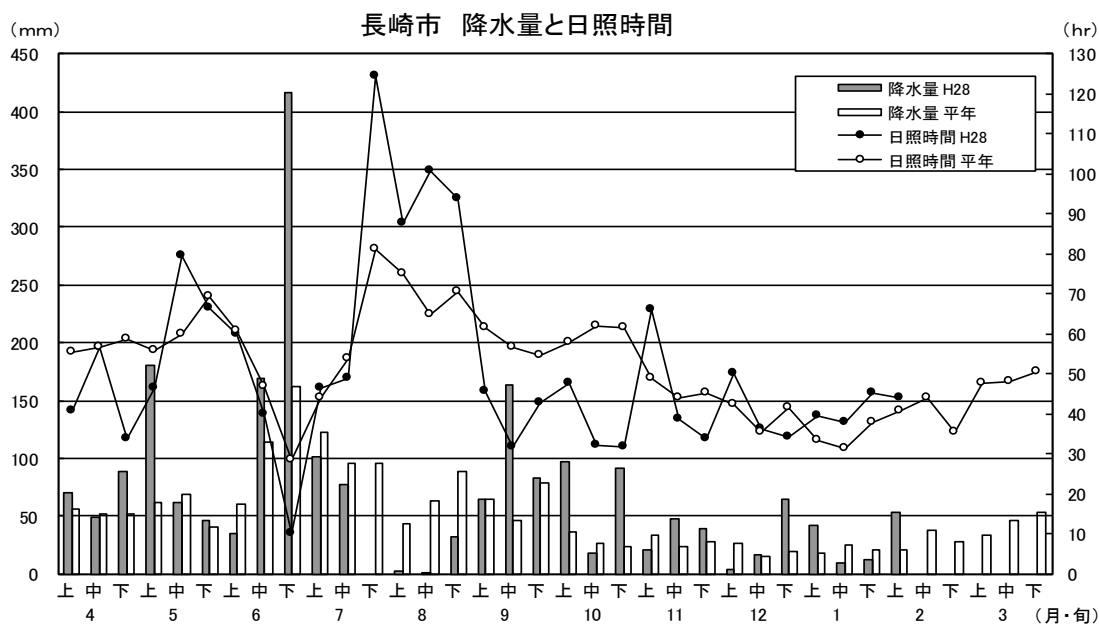
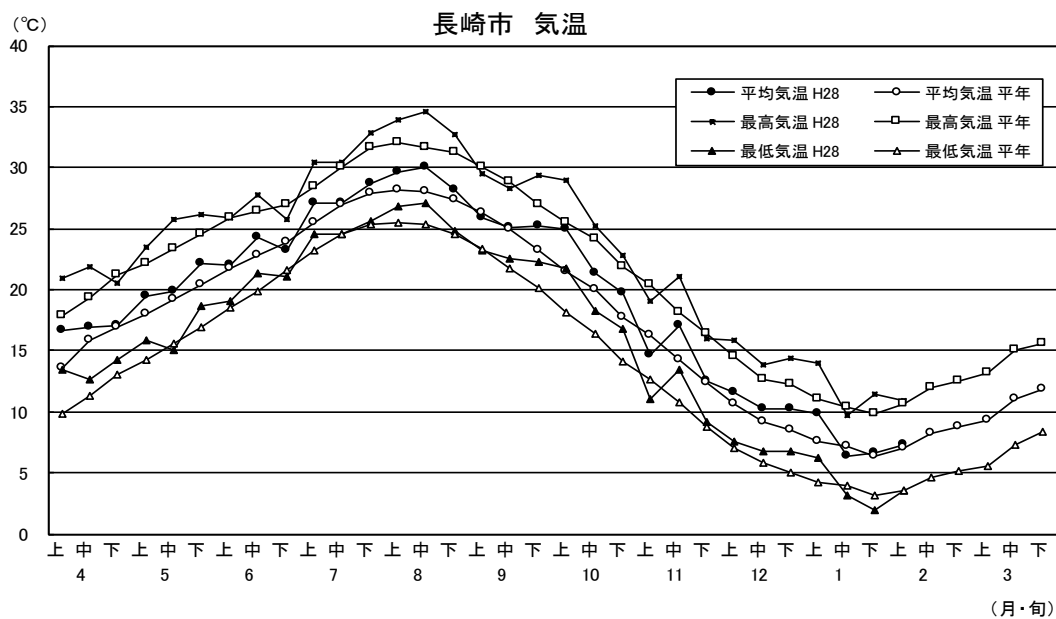
気象 (平成29年2月9日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	30	40	30
降水量	40	40	20
日照時間	20	40	40

※予報対象地域：九州北部地域

平成28年度の気象経過 (長崎地方気象台)



○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。  
「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027

